

事業所名

多機能事業所 育はぐプラス

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

2025 年

3 月

17 日

法人（事業所）理念		「共生・共育」 事業所名は、「育む」（はぐくむ）と「HUG」（抱きかかえる）を合わせて「育はぐ」とし、大切な子どもたちを卵のように抱いて慈しみ育てると言う思いから成る。						
支援方針		運動・遊び・創作活動等を通して感覚統合につなげ、身体能力やコミュニケーション能力の向上を図り、社会適応能力を身に付けることを目指す。また、母体である松山鍼灸接骨院が長年に亘って培ってきた東洋医学に基づき、一人ひとりに合ったプログラムを実施する。						
営業時間		平日	10 時	0 分から	19 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
		祝日・休校日	8 時	0 分から	17 時	0 分まで		
		支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	<p>定期的な通所を続けることで基本的な生活スキル、そしてリズムや習慣を身につけることを目的とする</p> <ul style="list-style-type: none"> ○来所時には検温を行い、いつもと変わった様子が無いか体調面・情緒面の細やかな見守りを行う ○食具の使い方、衣服の着脱など生活するうえで必要な行動などをスモールステップで習得できるよう支援する ○来所するときは着替える、手が汚れたら洗う等、身だしなみや清潔に意識付けが出来るような促しを行う ○睡眠状況や排便状況、食べられるもの等健康面における観察、困りごとの把握と対応を行う 						
	運動・感覚	<p>遊びを通して楽しみながら、各動作の基本的技能向上を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「サーキット運動」や「ボール遊び」、「迷路運動」など主に身体を使った粗大運動を遊びの一環として提供 ○塗り絵や工作活動、ブロック遊びなど指先を使った微細運動の提供 ○五感で感じる遊びやリズム遊び、感覚遊びなどの活動の提供 ○東洋医学の観点より整体師による定期的な施術 						
	認知・行動	<p>文字や数、そして形や空間等の概念形成の習得を目指し、それを適切な行動へとつなげることを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日付、年齢など身近な数字をスタートとして、数の順番や数量などを段階的に認知できるようにつなげる ○1日のスケジュールについて文字やイラストを用いて声掛けし、時間の流れを伝える ○具体的な物や描かれたカードを使って形、大きさなどの物の様子について、抽象的な概念を学ぶ機会を作る。 ○季節に合わせたイベントを実施し、四季を感じる機会を設ける 						
	言語 コミュニケーション	<p>コミュニケーション能力の基礎的部分向上とその手段を知り、習得へとつなげる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各児童の発達段階や特性に応じた感情表出の方法や手段の獲得、その過程の見守りや促し ○指さし、身振り等の非言語でのコミュニケーションも含め、自己表現したことが他者に伝わる喜びを体験できる ○他者とのコミュニケーションの中、または読み聞かせによる本や絵カード、紙芝居などの媒体を通し、様々な表現の仕方に触れ、発語へと促す 						
	人間関係 社会性	<p>その場に応じた役割やルールを伴う行動力の礎を身につけ、集団に参加する準備を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ひとり遊びから集団遊びへ繋がる支援を行う ○日々の支援の中でそれぞれの強みを見つけ、それを肯定的な働きかけをすることで、他者と過ごす楽しさを体験してもらう ○他者との関わりの中で生じる気持ちについて一緒に整理しながら理解や納得に繋げる ○ごっこ遊びやルールのある遊びに参加し、活動や遊びの中で相手の行動を模倣することを促す。 ○「順番交代」「挨拶」「ルール」「マナー」「感謝」「謝り」「指示に沿った行動をする」など、社会に適応するために必要なスキルを支援 						
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・希望者には療育体験の機会、または共に参加出来るイベントの機会をそれぞれ提供する ・年に2回のモニタリングを通し、ご家族の生活状況や困っていること等聞き取りを行う 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて通所する園や相談事業所等関係機関、同業事業者と連携を取りながら、児童に合った支援を提供する ・就学予定の小学校とも連携できる関係を築く 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・他の通所支援事業所との交流、情報交換会への参加 ・地域のコミュニティに参加出来る活動やイベントの実施 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・職員に向けた各研修、勉強会の定期的な実施 ・外部研修や外部見学への参加 	
主な行事等		季節に合わせた活動やイベント、休日に設けるイベント（外出や社会見学など含む）、防災訓練、地域連携（地域のお店や施設に行く）						